

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集: FXニュースレター

執筆担当: 斎藤登美夫

◆◆◆ No.0665 ◆◆◆

21/12/08

【 今年のドル/円相場、ドル一段高保ち終了か 】

2021 年はまだ 3 週間強という時間を残しており、材料的にも来週に年内最後の注目材料と考える米 FOMC を控えている。クリスマスや年末年始を前に市場参加者も少なくなりつつあり。状況次第ではまだ一波乱も二波乱もありそうだ。

しかし、話をドル/円に限定すれば、「年内の動意」についてはほぼ終了したと考えている。そこで、今回の当レターでは些か早計だが、今年一年間の為替相場、ドル/円の動きを中心に一度総括しておきたい。

◎ポンド/ドル、ユーロ/円は期待外れの一年

個人的に、今年 2021 年のドル/円は、1 月 6 日の 102.59 円が年内最安値。対して、11 月 24 日の 115.52 円が同高値でほぼ確定したと思っている。つまり、この先年内に両者を更新することは出来ないだろう。仮にこうした見方が正しいとすれば、厳密には異なるものの、「年初安・年末高」の様相で一年を通してほぼ右肩上がりをつとめた 2012 年や 2013 年に近い動きだ。数字で示されている以上にドルが強かった一年と言えるかもしれない。

一方、そんなドル/円の今年一年の変動幅と変動率を調べてみると前者は 12.93 円、12.54%となっていた(12月7日現在; 下表参照)。

以前から何度もレポートしている筆者の好きな分析方法である「年間変動率」によると、変動相場制以降のドル/円平均年間変動幅は 17.75 円、同変動率は 15.87%。今年も過去の平均には及ばなかったが、それでも 2017 年以降で最高の変動だ。一年間の変動が 10 円以下の 1 ケタにとどまり、日経新聞で「動かぬ円相場」などと書かれたことは当レターでも何度も取り上げたと、記憶にもまだ新しいところだが、今年はその呪縛からようやく解放された感もある。少し早いですが、来年はさらなる動意、今年よりもさらにアクティブに動くことを是非とも期待したい。折しも、米中間選挙などの材料もある。期待の持てる一年になるかもしれない。

それに対し、ドル/円以外の主要通貨ペアはというと、ポンド/円は年間変動幅 18.69 円、同率 13.29%でまあまあの動きをたどっているものの、たとえば同じポンドでも対ドルは過去最小レベルの変動だ。救いなのは、ここにきて年間安値を更新するような展開をたどっていることで、ドル/円のように「今年がすでに終わった」感はまだない。したがって、年末に掛けてここから一発大逆転とも言える動きをたどる可能性も否定できないだろう。一抹、期待を寄せている自分もまだ存在している。

また、ポンド/ドルだけでなく、ユーロもおおむね期待外れでとくに対円の動きが今年にはヒドかった。具体的には年初来の変動幅が 9.03 円、同率はわずか 7.17%に過ぎず、これはユーロ誕生後の年間最小変動であることはもちろん、前身といえるドイツマルク(マルク/円)を含めても、過去最小変動レベルだ。ドイツ総選挙は超えたものの、「メルケル後」の政権運営不安など足もとでも気になる材料は幾つもある。しかし、ユーロに関しては対円を中心に対ドルなどでも「年間を通し小動き」を脱せないまま、2021 年相場が終了するのではなかろうか。(了)

ドル/円の年間変動率						
	OPEN	LOW	HIGH	CLOSE	変動幅	変動率
2010	92.75	80.23	94.99	81.13	14.76	15.91
2011	81.14	75.57	85.53	76.90	9.96	12.28
2012	77.06	76.02	86.79	86.74	10.77	13.98
2013	86.61	86.54	105.41	105.28	18.87	21.79
2014	105.33	100.76	121.84	119.68	21.08	20.01
2015	119.89	115.85	125.85	120.20	10.01	8.35
2016	120.32	99.00	121.69	117.03	22.69	18.86
2017	116.75	107.32	118.60	112.69	11.28	9.66
2018	112.65	104.64	114.35	109.60	9.91	8.80
2019	109.80	104.10	112.40	118.65	8.30	7.56
2020	108.65	101.19	112.22	103.30	11.03	10.15
2021	103.10	102.59	115.52		12.93	12.54
平均					17.75	15.87

*注: 変動率は「変動幅/OPEN」
2021は12/07までのデータを使用し平均には含まず

当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。

なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

